

平成28年度

# 保護者向けセミナー開催のご案内

～みんなで、一緒に考えよう～

講師による講話のほか、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？ぜひ、ご参加ください。

**10月のセミナー 平成28年10月22日(土)**

セミナー講師：金沢工業大学 心理科学研究所

所長 **塩谷 亨 氏**

テーマ：「幸せになるために -ポジティブ心理学からの提案-」

内容：自分のポジティブ度、心理的幸福度の要素を理解し、自分の強みを知る。  
ポジティブ感情を生み出すワークなど。

【講師紹介】臨床心理センターで心理療法に携わりながら、ポジティブ心理学に基づいた活動を教育現場・地域において実践していらっしゃいます。

時 間：13:30～16:00

対 象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方

定 員：20名 (申込み方法：事前に「サポステふくい」までお電話ください。)

場 所：福井県社会福祉センター内

内 容：講師によるセミナー・意見交換ほか

**参加費 無料**

**サポステふくい(ふくい若者サポートステーション)とは…。**

若年無業者の方の職業的自立支援を行う機関です。サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働事業として行っております。

## 8月開催のセミナーレポート

日 時：平成28年8月20日(土)

テーマ：『今、学生相談室からみえる～不適應の背景について～』

講 師：福井大学学生総合相談室 コーディネーター 安岡恵子氏

安岡先生は、ご自分の経験を踏まえ、1.『不適應の背景』(①世代・文化的視点から見た、ここ最近の若者事情②発達障害を含めた視点から見た、その特性について③子育てという視点で、これまでを振り返って)2.『家族って？誰のための人生なのだろう』の2つのテーマについて話されました。

講義では、不適應の背景について話されて、今の若者は、自己を客観視する力や他人に相談する力が欠如していることに特徴があると指摘されました。大学では、相談室の利用者のニーズが年々上がり、学内の研修会や入学式後の保護者向け講演会の効果もあり、学生本人のほか、教職員や保護者の方の相談も多くなっています。

大学生にあたる年齢は、「心にかける」青年期であり、望ましい保護者の姿勢として、過干渉や放任過ぎにならず学生生活を共通の話題として、親子が話し合えること、子どもとしてではなく大人として本人の意思を尊重することであると話されました。

講義の後半は、参加者の皆さんとの意見交換の場を設けました。保護者の疑問や質問に対し、先生は本人の家庭での役割、家族でかかえこまないことをアドバイスしました。

また、本人が動けない間、保護者の心構えとして、保護者は本人の心配ばかりせず、まず保護者自身が生活を楽しむことで、本人の問題から一歩距離をおくことも大切であると話をされました。若者の自立を巡って、親子関係について考えさせられるセミナーでした。



【お問い合わせ】サポステふくい(ふくい若者サポートステーション)

福井市光陽2丁目3-22  
福井県社会福祉センター1F

TEL 0776-21-0311